

児童の筆箱の持ち物について

令和8年4月8日

広野小学校

筆箱の中身(基本)

削ったえんぴつ3～5本、赤・青えんぴつ(ペン)各1本、名前ペン、消しゴム、透明な定規
鉛筆

ノートにはっきりと写るものを使いましょう。低学年は必ず 2B より濃いものを使うようにしましょう。HB などは筆圧が弱いと見えづらいことがあります。

赤・青えんぴつ(1～3年生)、赤・青ペン、蛍光ペン(4～6年生のみ)

3年生までは鉛筆を使用します。4年生からはボールペンでも鉛筆でもよいです。多色ペンは使用しません。

4～6年生は、蛍光ペンを2本持ってもよいです。色は指定しません。

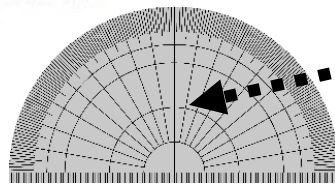
上記以外のペンは持ってきません。

消しゴム

よく消えるプラスチック消しゴムを使いましょう。香りのするものや食べ物や動物などの形を模したものは、使用しません。

定規(三角定規、分度器を含む)

透明のものを使いましょう。折りたためる定規は折れやすいので使用しないようにしましょう。



この部分が、キャラクターや濃い色で覆われていると、計測する対象や他の線が見えづらくなります。

筆箱

布製、カン製、プラスチック製の指定はありません。余計な装飾がついていないものにしましょう。

コンパス

鉛筆を付ける型のコンパスを使いましょう。

